

【最近10年間の主な活動内容】(業績または活動内容)

2002～03 おゆみ野地区参加型街づくりコーディネート業務/都市基盤整備公団(現独立行政法人都市再生機構)

2002～03 多摩市聖ヶ丘4丁目地区建築協定の更新に係る検討への協力/多摩市地区街づくりコンサルタント派遣業務

2000～04 ヴィレッジ浄瑠璃14コーポラティブ住宅コーディネート業務/ヴィレッジ浄瑠璃14建設組合

2005～06 多摩市タウンハウス南野地区建築協定の更新に係る検討への協力/多摩市地区街づくりコンサルタント派遣業務

2005～ コーポラティブ住宅「夢見隊2号プロジェクト」コーディネート業務/夢見隊2号プロジェクト建設組合

枠内に記入して下さい。別紙は無効といたします。

【自己PR】

1993年9月、町医者のような都市計画コンサルタントを目指して、地元多摩市に独立開業。居住者の目線に立った街づくりを心がけて仕事をしています。2000年2月より、NPO FUSION(夢見隊)の一員として、多摩ニュータウンに住み続けたいと願う方々の理想の住まいをコーポラティブ(住民参加型家・街づくり)手法によって実現する活動を始め、2004年6月に全14世帯の小さなコミュニティ「ヴィレッジ浄瑠璃14」という団地を完成させました。その中で私はコーディネーターとして関係者の意見調整に汗をかきましたが、苦勞の甲斐があって、このプロジェクトは国土交通省の「土地活用モデル大賞」を受賞しました。現在、ミサワホームと共同で夢見隊2号プロジェクトを推進中で今秋完成予定です。また、昨年暮れから多摩ニュータウン別所で進められようとしていた某マンション業者の開発計画に反対する地元住民の方々の相談を受け、住民の方々とともに住民案を取りまとめ業者に提出、話し合いの末、業者が住民案を受け入れプランを大幅に変更、基本合意に導きました。

これらの経験から、街づくりにおける心のもった粘り強い会話の重要性を再確認すると同時に、その量と質が街をより豊かにしてくれると確信するようになりました。

* 2002年4月～「多摩市街づくり派遣コンサルタント」

* 2007年5月～「多摩市街づくり審査会」審査委員

枠内に記入してください。別紙は無効といたします。